

聞

2022年(令和4年)5月24日 火曜日

地域の特徴をブロック塀に描いた千種高校の藤原唯羽さん(右)と切山善博さん(左)と宍粟市千種町千草



スキー場やシカ、クマ、アユ…

千種の魅力壁画に

商店街地元高校生描く

千種町商店街(宍粟市千種町)の栄々人來広場と駐車場にあるブロック塀に、千種高校の生徒有志による壁画が完成した。3〜4月の春休み期間中に取り組み、町内の観光スポットや豊かな自然を描いた。

約20年前、当時の千種高校生がブロック塀に絵を描いたが、傷んできたため、あらためて同商店街連合会が千種高に依頼。2、3年生15人がボランティアで参加し、デザインを考えた後にペンキで色を塗った。壁画は栄々人來広場と駐車場の2カ所計約120

平方メートル。ちくさ高原スキー場をイメージした絵をはじめ、木々の間でくつろぐシカやクマ、ウサギ、川で泳ぐアユといった動物を描き、町内に残る豊かな自然を表現した。町内に伝わる伝説の未確認生物「ツチノコ」の絵もある。

同商店街連合会の切山善博会長(65)は「商店街が明るく華やかになった気分」と喜ぶ。アート作成に携わった千種高3年の藤原唯羽さん(18)は「作業中、地域の人にも見に来られたので、完成に向けての励みになった」と話した。

(村上晃宏)